

Makuhari's Memory

アカデミー卒業生が持続可能な循環型社会を推進する

まず、岩田裕美教授・八木遼主査をはじめ、健康で安全な研修の運営にご尽力いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。また、副幹事の豊明市・樋口健太さん（写真中央）と新庄市・遠藤和也さん（写真右）、各班座長の皆様にはたくさんサポートしていただきありがとうございました。

研修では、環境省職員より最新の政策の動向や今後の展開、各分野で研究を進める大学教授よりSDGsの考え方、地域や住民とのパートナーシップづくりや合意形成のテクニック、また自治体職員より被災実例に基づく実践的な災害廃棄物処理などについて学んだほか、課題演習では【自治体の役割】についてグループ討議したなかで、各自治体の地域性や規模の違いによるごみ行政のそれぞれの特徴を知ることができました。

ごみ行政は住民の日々の生活に密接する必要不可欠な自治体サービスである一方で、世界的な環境問題にも影響する重要な役割を担っています。全国から集結した中堅職員39名の受講生は、各自

自治体が抱える課題を解消するため、または施策の更なる推進のため、この5日間の研修で習得した専門的知識と実務遂行能力をそれぞれの地域性にカスタマイズして活用し、持続可能な循環型社会の推進に尽力されるものと確信しています。

最後に、受講生の皆様へ。時節柄、ゆうあいラウンジではノンアルコール懇親会になってしまいましたが、マスク越しの皆様の笑顔が記憶に残っています。各地に旅行した際は遠慮せずに連絡しますので、1杯だけお付き合いください。



岡里 実

千葉県習志野市
都市環境部クリーンセンター業務課
業務係長
〈受講研修科目〉
廃棄物の処理とリサイクルの推進
第36期第1組（令和4年度）